

海も山も満喫する 徳島・高知の旅



◎今回の旅するクルマ◎

Gran Cruise WD

ぐらんくるーず だぶるでいー

株式会社 岡モータース

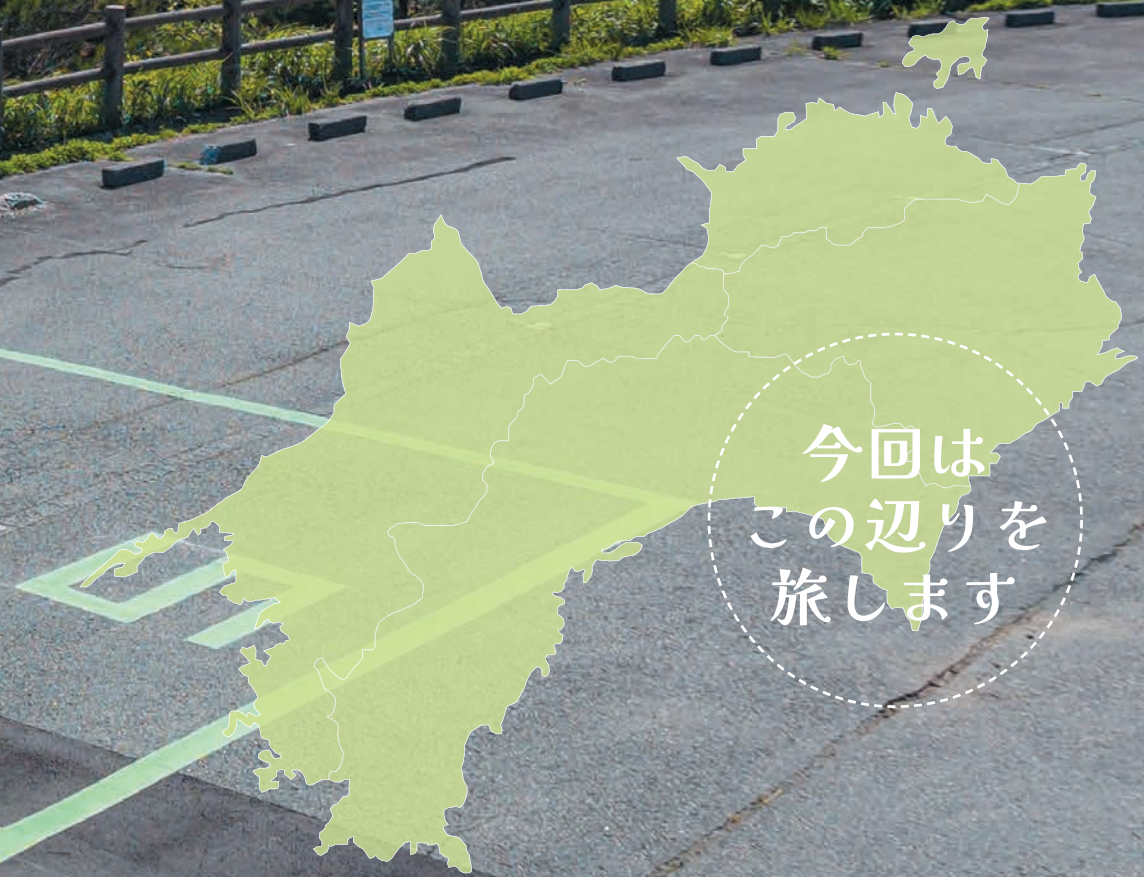
〒761-8058 香川県高松市勅使町630 TEL 087-865-5588



◎今回の旅する人◎

天羽生 令華さん

Reika Amou



今回は
この辺りを
旅します

訪りたい場所があるからこそキャンピングカーで

日本全国、まだまだ訪りたい場所がたくさんある
しかし、旅となると移動手段と宿泊場所が問題に
行きたい場所があるのに、アクセスが悪かったり、宿泊場所が少ないなど
そこで、注目されているのが、自由に行動できるキャンピングカーの存在
キャンピングカーがあれば、自分の本当に行きたい場所を選ぶだけでOK
ストレスフリーな旅を実現できるとともに、予想以上の体験が待っているかもしれない
今回はモデルの令華さんが行きたかった場所、四国の南側へ
キャンピングカー旅のスタートだ！

キャンピングカー旅なのに 始まりはバスに乗って?!

キャンピングカーの旅がスタートしたばかりなのに、なぜか停留所に立つ令華さん。ここは徳島県海陽町の阿波海南文化村。海陽町の歴史や文化を知ることができる博物館をはじめとするさまざまな施設が集まっている。気持ちいい中庭を歩くと、ドライブの疲れも忘れてしまう。館内の掲示物で最も興味を引いたのが、DMVという乗り物。初めてみる可愛い姿を実際に見てみたい!と停留所へ向かう。



阿波海南文化村

あわかいなんぶんかむら



住所 / 〒775-0202 徳島県海部郡海陽町四方原字杉谷73

電話 / 0884-73-3100 (海陽町教育委員会)

営業時間 / 8:30~17:15

休館日 / 毎週月曜日 (月曜日が祝日の場合はその翌日)

<https://www.town.kaiyo.lg.jp/bunkamura>

徳島県海陽町と高知県東洋町の海岸線を結ぶ 世界初のDMVに乗る

DMVはデュアル・モード・ビークルの頭文字をとった言葉。この可愛いバスは、道路も線路も走れるようになっているのだ。しかも、世界で初めて営業運行されたのが、徳島県と高知県を結ぶこの路線。阿波海南文化村のバス停をスタートして、一般の道路を走っていき、途中から線路に入り、レールの上を走っていく。もともとは利用客の減った路線を活用するために開発された乗り物で、海南の海岸線を走っていた阿佐海岸鉄道阿佐東線の線路を利用している。一般的な鉄道車両での運行は2020年まで。以降、このDMVが地域の人の生活を支え、乗り物好きな観光客も呼び寄せている。



DMVが阿波海南駅に着くと、鉄道用の車輪が出てきて、フロントのタイヤは宙に浮き、リア側はバスのタイヤがレールの上に乗り動力を伝える役割を果たす。バスと鉄道をミックスしているのだから、乗り方に戸惑うかもしれないが、降りる時、車掌に運賃を支払うシステム。バスから鉄道への切り替えもスムーズで、アトラクションのような趣さもある。車内から見える景色は、深い山々の緑と煌びやかな海の青が美しい。お遍路の途中で乗車している人との出会いもある。旅好き者同士、旅の話題でお互いの顔にも笑みが溢れる。

阿佐海岸鉄道株式会社

あさかいがんでつどうかぶしきがいしゃ

電話 / 0884-76-3700 (穴喰駅)

お問い合わせ時間 / 6:00-18:00 <https://asatetu.com>





DMVに乗って着いたのが、海の駅東洋町。海の駅という名称から、海鮮があることに期待する令華さん。停留所に降り立つと、目の前には砂浜、その奥に海が広がっている。道の駅の店内に入ると、地元で水揚げされた魚がたくさん。しかも、店内には魚料理を食べられる食堂もある。詳しく聞いてみると、販売されている魚を食堂で調理してくれるそう。キャンピングカーには冷蔵庫もあるが、その場で調理してくれるのはありがたい。



目の前に広がるビーチは白い砂浜と遠浅の海で、夏になるとたくさんの海水浴客で賑わう。シーズンを外せば、サーフィンも可能で、穏やかな波が心地よいサーフィンタイムを提供してくれる。近くには有名な生見サーフィンビーチもあり、サフトリップの休憩ポイントとしても利用できる。



道の駅 東洋町

みちのえき とうようちょう



住所／〒781-7413 高知県安芸郡東洋町白浜88-1

電話／0887-23-9955

営業時間／9:00～17:00

定休日／年中無休(元旦のみ休業)

<https://michinoeki-toyochi.jp>



海まで徒歩0分 高知県最東端の道の駅 潮風を感じながら少し休憩

海は目の前にあり、抜ける風が気持ちいい。ドライブの休憩場所としては最高のロケーションだ。海鮮、海水浴、サーフィンなどを楽しめる道の駅東洋町にはキャンプ場も併設されていて、海風を感じながらキャンプを楽しむのもポイント。駐車場での車中泊は禁止されているので、キャンピングカーで訪れた時は、休憩だけで利用するか、宿泊したい場合はキャンプ場を利用するのがルール。



ドライブイン夫婦岩

どらいふいん めおといわ

住所／〒781-7220 高知県室戸市佐喜浜町3

電話／0887-27-2005

営業時間／10:00～15:00

定休日／金曜日



日替わり定食 1,000円



昭和レトロな佇まいに誘われて 地物の鮮魚と人情を味わう

国道55号を南に進み、室戸岬の手前があるのがドライブイン夫婦岩。ノスタルジーを感じるドライブインにはのんびりとした空気が漂っていた。地魚をメインに美味しそうなメニューが並び、目移りしてしまう。おすすめは日替わり定食。地元の漁港で、その日に水揚げされた魚を使っているという。そのたたずまいから伝わってくるお刺身の新鮮さを感じながら、ボリュームある内容で幸福感に満たされる。地物を提供しているので、シーズンによってメニューも変わってくる。空気が冷えてくると鯨なども提供されるという。





むろと廃校水族館

むろとはいこうすいぞくかん



住所／〒781-7101 高知県室戸市室戸岬町533-2

電話／0887-22-0815

営業時間／9:00～18:00(4月～9月)9:00～17:00(10月～3月)

定休日／年中無休

入館料／大人(高校生以上)600円 子供(小・中学生)300円

<https://www.city.muroto.kochi.jp/pages/page0343.php>

廃校になった旧椎名小学校が水族館に 魚の生徒たちと戯れる

ドライブインを出てキャンピングカーで5分の位置にあるのが、今回の旅で行きたかった場所でもある、むろと廃校水族館。もともとは1874年に創設された学校で、この地に移転してきたのが1930年、70年近い歴史を経て2006年に廃校した小学校だった。そして2018年にプールを水槽として使うなどして、水族館をオープンさせたという。学校の面影が強く残っていて、教室に現れる巨大な水槽は圧巻。高さのある水槽を上から見学できる珍しい水族館でもある。令華さんは小さい魚や亀にエサをあげて、テンションも上がる。あっという間に時間が過ぎてしまった。



室戸岬

むろとみさき



住所／〒781-7101 高知県室戸市室戸岬町6939-4

電話／0887-22-5161(室戸市 観光ジオパーク推進課)

<https://www.city.muroto.kochi.jp/pages/page0290.php>



自然がつくる雄大な景色に包まれて 夕暮れの水平線を望む

ここまできたら室戸岬を外すわけにはいかない。隆起した岩肌や古代からの長い歴史で海水に削られた地層を確認できるダイナミックな自然が残っている場所。路線バスの本数も減ってしまい、非常にアクセスしにくい場所であるが、それも本来の姿といえる。香川県出身の空海が修行の地として選んだ場所としても有名で、数々の逸話も残されている。その際も霊場として、あまり人が足を踏みれない場所だったという。だからこそ、ここでしか感じるができない自然が溢れているのだ。



SOUTH AREA



NORTH AREA



NORTH AREA



SOUTH AREA



シャワー室も
南国風で最高



高知の海岸線に現れた小さなハワイ アロハなRVパークで一泊

徳島から室戸岬を通過、高知へ抜ける国道55号は、美しい海岸線の景色がドライブを盛り上げてくれる。しかし、街から離れているため、海岸線での宿泊場所を探すのが難しい。そう思いながら地図を眺めていると、土佐湾に面した場所にボツンと一軒のRVパークを発見。ドライブの中経地点としてもちょうどいい。早速、RV-Park.jpから予約。どんな場所かとウキウキしながらキャンピングカーを走らせた。ナビでしっかりと位置を確認して、注意してみると、他と雰囲気の違うエリアが出現。そして、エントランスを入ると別世界が広がっていた。宿泊エリアは南エリアと北エリアに分かれていて、今回は南エリアにチェックイン。ハワイのパイナップル畑を抜けて現れる、ハレイワタウンのような景色に包み込まれ、気分は完全にハワイアン。目の前のビーチに海ガメが産卵にやってくることから、ハワイの海ガメ産卵で有名なラニアケアビーチから名付けられたカフェには、フードから空気感まで、そして、オーナーまでも、ゆるいローカル感のあるハワイの心地よさを演出してくれる。



RVパーク ALOHA Village・BASE CAMP

あーるぶいーばーく あろはういれっべーすきやんぶ

住所／〒781-0322 高知県高知市春野町甲殿1422-27

電話／088-854-8588 (11:00～22:00問合わせ可能)

チェックイン／15:00～20:00 チェックアウト／6:00～10:00

利用料金／南エリア(ビレッジハウス横×1区画)1台(4名様まで) 4,000円～

北エリア(ベースキャンプ全4区画)1台(4名様まで) 3,000円～

公式サイト／<https://www.alohavillage.net>

予約はこちらから



RV-Park.jp



RVパークで海を見ながらハワイな朝食 2日目の旅スタート

2日目の朝はデッキに上がって、海を眺めながらモーニング。朝食に選んだのは、RVパークに隣接しているカフェのアサイーボウル。ひんやりとしたスムージーのような爽やかさが海辺の朝にぴったり。事前に予約しておけば本格的なハワイのアサイーボウルが食べられるので、カフェでも人気メニューとなっている。



最高の環境を提供してくれたRVパークアロハヴィレッジ・ベースキャンプ。オーナーの笑顔に見送られながら、2日目の旅がスタートする。昨日までの疲れはすっかり消えて、気持ちよくドライブができそう。海岸線を離れることなく宿泊できたのも好都合だった。



桂浜公園

弓形に広がる美しい白浜と深い緑 人々が集う景勝地で思いをはせる

かつて坂本龍馬が愛したという桂浜へ。当時の偉人たちも同じ景色を見ていたと思うと、令華さんの気分も高まってくる。公園内を歩いて、楽しみにしていた坂本龍馬の銅像の前でパチリ。こちらも100年近い歴史がある銅像で、土佐の人たちの熱い思いを感じる。

桂浜公園
かつらはまこうえん



住所／〒781-0262 高知県高知市浦戸6(管理事務所)

電話／088-841-4140

営業時間／24時間営業

※ 海のテラス内の商業施設は店舗によって営業時間が異なります。



桂浜公園は観光名所としても人気のエリアで、大きな駐車場が併設されている。大型キャンピングカーでも余裕で停められるスペースなので安心。駐車場から桂浜へ抜ける場所にあるのが、2023年にオープンした海のテラス。食事やちょっとした休憩に便利なカフェ、そして、お土産屋さんからインフォメーションセンターまで、いろいろなショップが集まっている。





SUIGEI STORE 長浜蔵

すいげいすたあ ながはまぐら



住所／〒781-0270 高知県高知市長浜566-1

電話／088-821-8003

営業時間／10:00～17:00 定休日／日曜・祝日

<https://suigei.co.jp>



酔鯨酒造

桂浜帰りのキャンピングカーユーザーも多く来店する 高知の人気酒造で自分へのお土産を

桂浜の近くの国道を走っていると、地元の酒蔵を発見。予定を変更して、ちょっと寄り道してみることに。ここは、1872年に創業した酒蔵を継承して、1969年に酔鯨の名前でさまざまなお酒を展開している老舗の酒蔵。本社の直営店で数量限定の日本酒を手に入れることができた。芳醇な香りでありながらキレのある飲み口が酔鯨の特徴だ。

ちょっと足をのばして土佐市まで 酒蔵の工場見学やカフェも堪能

伝統を守りながら新しい酒造りに挑戦するため、2018年に竣工したのが土佐蔵。温度管理システムなど、最新の機器を使い、これまで以上に高い次元での酒造りを実現する。併設されたショップではお酒の試飲や販売に加えて、お酒などを使ったスイーツも提供されている。ノンアルコールのあま酒ソフトクリームなど、気になるメニューがたくさんある。今回は立ち寄ることはできなかったが、次回は蔵の見学も合わせて訪れてみたい、と次の旅の目的地がまた増えてしまった。



SUIGEI STORE 土佐蔵

すいげいすたあ とさぐら

住所／〒781-1113 高知県土佐市甲原2001-1

電話／088-856-8888 営業時間／10:00～17:00 定休日／なし(年末年始を除く)



お昼の前にお腹を空かせるちょっと運動 高知城の石段を登る

日本100名城の1つとして認定されている高知城。江戸時代に建造された天守が現存する現存天守十二城の1つでもある。小さな山の上に築かれていて、天守の周りには公園として整備されている。上り坂も多いのだが、天守を眺めながら令華さんの足取りも軽い。売店で提灯を手に入れてご満悦の様子。

高知城

こうちじょう



住所／〒780-0850 高知県高知市丸ノ内1-2-1 電話／088-824-5701

営業時間／9:00～17:00(天守閣・博物館)

休館日／12月26日～1月1日(天守閣・博物館)

入館料／18歳以上 500円 18歳未満 無料(天守閣・博物館)

<https://kochipark.jp/kochiijo/>





名物が集まった市場で高知を楽しむ 燃え上がる炎が誘う 薫焼きカツオのたたき

土佐藩の家老だったお屋敷があり、この辺りはひろめ屋敷と呼ばれ親しまれていた場所だった。そこへ、1998年10月にこのひろめ市場がオープン。高知県の特産を活かした店舗が並び、市場のテーブルをみんなでシェアしながら利用する。食後の食器はテーブルの上にとめておけば、スタッフが片付けてくれるシステム。全国でも珍しいスタイルで新しい市場の姿として注目されている。市場にあるお店は、飲食店、雑貨、洋服、生肉、鮮魚などさまざま。名店からカジュアルなお店まで、幅広いジャンルの店舗が屋台のように並ぶ。名物でもある薫で炙るカツオのたたきも食べられて、高知のグルメを市場だけで楽しめるのが良い。1ヶ所で楽しめるので、キャンピングカーの移動も少なく便利。



ひろめ市場
ひろめいちば



住所／〒780-0841 高知県高知市帯屋町2-3-1 電話／088-822-5287
営業時間／10:00～23:00(日曜9:00～23:00) 定休日／不定休
<https://hirome.co.jp>



樹齢3000年を超える存在感に圧倒 境内に残る杉として日本最大

次の目的地へ行くため、山間部を目指して高知県内を北上。その途中で立ち寄ったのが大豊町にある八坂神社の杉の大スギ。根元の周囲は約20mもあって、高さは60m近い。神社の境内に残る杉としては日本最大級のサイズ。根元から幹が2つに別れて、ダイナミックに空へと伸びている姿は圧巻。パワースポットとしても有名で、日本神話に出てくる須佐之男命が植えた杉とも言われている。大型のキャンピングカーも停められる駐車場がすぐ近くにあるので、アクセスもしやすい。



美空ひばり遺影碑 歌碑がたたずむ大杉の苑

この大スギは出世杉とも言われている。かつては坂本龍馬も参拝に訪れていたとも。そして、歌手の美空ひばりとの逸話も有名だ。デビューまもない頃、地方巡業の際に大豊町で事故に合い、この地で療養していた美空ひばりが、「日本一の歌手に」と願掛けをした杉でもある。そして、有名になり、再び大豊町を再訪。そんな繋がりもあって、1993年に大杉の苑が作られ、美空ひばりの歌碑などが立てられた。歌碑に近づくと、美空ひばりの曲が流れるようになっている。



杉の大スギ
すぎのおおすぎ



住所／〒789-0311 高知県長岡郡大豊町杉794 八坂神社境内
電話／0887-72-1585
営業時間／8:00～18:00(4月～9月) 8:30～17:00(10月～3月)
定休日／なし 入場料／大人 200円 子供 100円
<https://www.town.otoyo.kochi.jp/life/detail.php?hdnKey=416>

気持ちの良いワインディングロードの先に 絶景のRVパークに到着

旅も終盤に向かい、今度は四国の山々を堪能するドライブコースへと進む。大豊町の大スギから出発して、さらに山の中へ。標高が上がって、山々が連なる美しい景色が目の前に広がるとゴールも近い。目的地はキャンピングカーの宿泊施設であるRVパークゆとりすと。絶景を眺めながら、キャンピングカーで宿泊できるロケーションで、四国の大自然を身近に感じられる場所。標高が750mもあり、運が良ければ雲海が広がる雄大な景色を眺めながら朝を迎えることができるという。



RVパーク ゆとりすと

あーるふいばーく ゆとりすと

住所 / 〒789-0315

高知県長岡郡大豊町中村大王4037-25

電話 / 0887-72-0700

定休日 / 火曜(火曜日が祝日の場合は翌日)

チェックイン / 13:00~18:00 チェックアウト / 7:00~10:00

利用料金 / 1台 2,500円~

公式サイト / <http://www.yutorisuto.jp>

予約はこちらから



RV-Park.jp

大きな駐車場に広々とした区画が確保されているRVパークゆとりすと。電源やシャワーも設置されているのだが、隣接するゆとりすとパークおおとよを利用できるのもポイントが高い。コテージやログハウスなどもあるので、長旅の気分転換に施設に宿泊してみるのもいいだろう。令華さんは雄大な光景に魅了されたようで、高原を吹き抜ける風を感じながらリラックス。大きな風車も景色の一部に溶け込んでいて、のんびりと回る羽を見ているだけでも癒されてしまう。そろそろ旅も終わり、少し寂しい思いを抱きながらも、リアゲートから山々を眺めながら、充実した四国旅を振り返る令華さんの姿があった。



「RVパークゆとりすと」がある「ゆとりすとパークおおとよ」は、広大な敷地にフラワーガーデンやレストラン、アスレチックなどが集まった複合レジャー施設。フラワーガーデンの階段を登って振り返ると、360度の絶景が広がっている。もし雲海が出ていたら、雲海の中に浮かぶフラワーガーデンを見ることも。ワンちゃんも一緒に来園できるので、芝生エリアでワンちゃんもリラックスできる。

ゆとりすとパークおおとよ

ゆとりすとばーくおおとよ



住所 / 〒789-0315 高知県長岡郡大豊町中村大王4037-25 電話 / 0887-72-0700

定休日 / 火曜(火曜日が祝日の場合は翌日) 入場料 / 無料

公式サイト / <http://www.yutorisuto.jp>

ポケふたが四国にいっぱい

ご当地のポケモンをあしらったマンホールの蓋『ポケふた』。高知のポケモンはヌオーで県内には7ヶ所ある。ゆとりすとパークおおとよにもその1つが設置されている。その他徳島に3ヶ所、香川に18ヶ所、愛媛に2ヶ所。旅の途中のお楽しみとして探してみてもいいだろうか。

